



スクールライフ

令和4年9月9日（金）

特別号

前期学校評価を受けて

内灘町立内灘中学校 校長 酒井 紀幸

2学期が始まり、2週間が経ちました。生徒たちは少しずつ学期中の生活リズムを取り戻し、授業等で元気な姿を見せてくれております。今学期も授業や部活動、学校行事等を通して、自分自身をさらに逞しく成長させていってほしいと願っております。

さて、保護者の皆様のご意見をお伺いしながら、学校・家庭・地域が一体となった、より効果的な教育活動を推進するために、1学期末に「本校の教育活動に関するアンケート」を実施させていただきました。おかげさまで、貴重なご意見を多数いただくことができました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

このスクールライフ特別号では、保護者の皆様にぜひお知らせしたい項目を取り上げて記載させていただきました。今後、この結果をもとに、よりよい学校づくりにさらに努めていきたいと考えております。

生徒と保護者の主な共通項目



	質 問 項 目	R 4 生徒	R 3 生徒	R 4 保護者	R 3 保護者
①	学校が楽しい	81%	88%	81%	89%
②	部活動に意欲的に取り組んでいる	92%	97%	87%	93%
③	計画を立てて勉強している	73%	76%	53%	92%
④	毎日朝食を食べている	96%	97%	94%	95%
⑤	将来の夢や目標を持っている	71%	84%	61%	69%

①について

肯定的な回答の割合は、生徒・保護者ともに昨年度同期の数値を下回りました。（生徒：-7%、保護者：-8%）7月に生徒指導部が行った『いじめに関する意識調査』では、94%の生徒が「みんなで何かをするのは楽しい」と回答しており、具体例として「友だちと話したり交流したりすること」や「部活動」を挙げる生徒が多く見られました。また、友だちとの関わりが「学校の楽しさ」の大きな割合を占めていることが改めて分かりました。

しかしながら、実際に「学校が楽しい」と回答した生徒は81%に止まっており、現在も続くコロナ禍での行動制限や長時間マスクを着用しての生活、一斉に集い仲間と協力して活動する場面が減少していることも大きく影響していると思われます。学校では、生徒たちが達成感や充実感をより多く味わうことができるような活躍の場の設定や授業改善が必要であると考え、さらなる研鑽に努めていきます。



③について

肯定的な回答の割合は、生徒・保護者ともに昨年度の数値を下回りました。（生徒：-3%、保護者：-39%）「確かな学力」に結びつけていくためには、家庭学習が欠かせません。学校ではこれまで、定期テスト前にレコーディングシートを活用し、生徒自身で学習計画を立て、保護者の方に取組状況を確認していただく等、家庭と連携を図りながら家庭学習習慣の定着に取り組んでいます。また、質問教室や放課後学習を実施し、個別に質問できる機会を設けたり、全校一斉にテスト勉強に取り組む時間を確保したりしながら、家庭学習に対する意識向上と習慣の定着を図っています。1・2年生では家庭学習ノート、3年生では受験対策用問題集を活用した自主学習の取組も継続して行っています。

ご家庭におかれましても、学習習慣の定着に向け、生徒たちの頑張りを後押しする言葉かけやご支援を、今後ともよろしくお願いいたします。

生徒の主な項目



	質 問 項 目	R 4 生徒	R 3 生徒
①	授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う	94%	94%
②	授業のルールをしっかりと守って取り組んでいる	95%	96%
③	先生方は、意見や思い、悩みを聴いて対応してくれる	93%	92%
④	自分にはよいところがあると思う	72%	79%
⑤	先生は、あなたのよいところを認めてくれている	90%	92%
⑥	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	98%	99%

③について

昨年度同期の数値を1%上回りました。学年別にみると、1年生は93%、2年生は昨年1年次の85%から8%上回り93%、3年生は昨年2年時の95%から1%下回り94%となっています。日々の生活ノート「はまなす」を通してのやりとりや励まし、定期的に行っている悩みごとアンケートの活用、傾聴や受容の姿勢を大切にした教育相談等に一層努めていきます。

④について

肯定的な回答の割合は72%で、昨年度の数値を7%下回りました。学年ごとでは1年生67%、2年生69%、3年生80%となっています。7月に行った『いじめに関する意識調査』では、この項目に関連し「人の役に立った、人から感謝されたと思ったことがある」という項目について尋ねたところ、肯定的な回答の割合は全体で88%でした。学校では、生徒が友だちや教師から認められたり褒められたりしたと実感できるような場の設定、生徒自身の頑張りの姿がわかる掲示物等を通して、「自分のよさ」や「自身の成長」を自覚し、小さな成功を少しずつ積み重ねることで、自分に自信を持たせることができるよう生徒の育成に努めていきます。

保護者の主な項目



	質 問 項 目	R 4 保護者	R 3 保護者
①	学校は、生徒のことについての連絡や相談に適切に応じてくれる	87%	93%
②	学校は、生徒の努力を適切に評価している	90%	93%
③	学校は、進路に関する指導（進路説明会・職業調べ等）や情報提供を適切に行っている	85%	92%
④	学校は、各種便りや学校ホームページ等で、学校や子どもたちの様子を保護者や地域へ分かりやすく伝えている	93%	95%
⑤	学校を信頼して子どもを預けている	93%	96%
⑥	わが子はテスト前のノーメディアデーに意識して取り組んでいた	44%	51%

④について

今年度は本校ホームページの充実を図るべく、可能な限りタイムリーな情報や記録写真の掲載に努めております。また、学校だよりや各種たよりを通して、学校のように生徒の活躍を中心に情報を提供しています。配付された各種たより等が、お子様を通じて確実にご家庭に届いていない場合があります。学校だよりや学年だよりは毎月配付しておりますので、ご確認いただければと思います。

⑥について

肯定的な回答が、保護者アンケートでは44%、生徒アンケートでは66%であることから、実行率は低いと考えられます。定期テスト前は、テレビ・パソコン・携帯電話・ゲーム機器等、娯楽を目的としたメディアの使用を禁止する「ノーメディアデー」を設定し、集中して学習に取り組むよう生徒たちに働きかけをしています。

また、1人1台端末が導入された現在では、各種通信端末機器を使用する上でのルールやより効果的な活用方法について考えていくことも重要です。例えば、タブレットPC等を使用しての学習は、視覚・聴覚からたくさんの情報を得ることで理解度の向上に役立つメリットがあります。しかしながら、長時間の使用は視力への大きな負担になること、文字を紙に書くことが少なくなること、自分自身で考える力や粘り強く取り組む力を鍛えづらいこと等が心配されています。家庭学習の環境づくりと併せて、各ご家庭においても、スマートフォン等の通信端末機器の使い方について、お子様とお話をする機会を設けていただけたらと思います。

※以上、数値はアンケート回答の「そう思う」「大体そう思う」の合計の割合(肯定的評価)で示してあります。

保護者の皆様からのご意見より

毎朝の検温や体調についてのメールはいつまで行うのでしょうか？ そろそろ休むときだけ連絡でもよいのではないのでしょうか？

7月下旬以降、2学期が始まってからも、県内の新型コロナウイルス感染症感染者数は、1,000～2,000人を越える日が続いております。学校としても引き続き、検温、手指消毒、マスク着用、ソーシャルディスタンス等、感染症拡大防止対策の徹底に努めたいと考えております。また、登校前に生徒の体温や健康状態を把握させていただくことで、登校後の健康観察や個別対応等をよりスムーズに行うことができますので、お手数をお掛けしますが、今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症関連等の理由により、子どもがしばらく自宅待機となった場合、授業についていけなくなるのではと心配しています。

体調の回復が何よりも優先事項だと思いますが、容体を見ながら自宅でできる範囲の学習を行っていただけたらと思います。本校では、新型コロナウイルス感染症関連の理由により自宅待機となった場合、希望する方には、Google Meet アプリを使用し、国語・社会・数学・理科・英語のみ（数学少人数教室・理科室での授業を除く）ではありますが、授業のようすをライブで視聴することができます。ただし、黒板の字の見え方や声の聞こえやすさは明瞭とは言えないのが現状です。各教科のワークブックや家庭学習ノートを進めたり、クロームブックにある学習支援ソフト「ミライシード」内の「ドリルパーク」を活用したりするのもよいかと思えます。

なお、月ごとの行事予定表は学校ホームページ、または、Google Classroom「授業・行事等動画及び保護者アンケート」にてご連絡しておりますが、詳しい時間割や提出課題等について、ご不明・ご心配なことがありましたら、学校まで問い合わせいただけたらと思います。



クロームブックを破損した場合は、全額弁償となりますか？ その場合、おいくらぐらいするのですか？

端末に不具合が出たときは、まず学校（学級担任）に連絡してください。学校と内灘町教育委員会が必要な対応を調整いたします。

紛失、故意による破損、乱雑な扱い、過失による利用者の負担額については、起こった事案の内容等より、その都度協議させていただきますが、全額負担となる場合もあります（約55,000円）。学校敷地内だけでなく、登下校を含めた自宅における破損も私費（保護者）負担となります。可能であれば、「物損保険（盗難補償含む）への加入をご検討していただけたらと考えております。クロームブックをさらに身近に感じ、学習に有効活用してほしいと願う一方、大変高価な学習用具ですので、中学校卒業まで大切に使用していただきたいと思います。学校でも、使用する際のルールや管理のしかたについてお話させていただいておりますが、ご家庭でもご確認していただければ幸いです。

令和4年度 前期学校評価アンケート結果(7月)

S=生徒 P=保護者 (数字は、「そう思う」「大体そう思う」の合計の割合)

＜確かな学力の向上＞

	R4前期
S 定期的な漢字・英単語テストにしっかり取り組んでいる	93%
S 授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思う	94%
S 授業は分かりやすい	92%
P 学校は、分かりやすい授業づくりや学力向上に努めている	89%
S 授業のルールをしっかりと守って取り組んでいる	95%
S 自分で計画を立てて勉強している	73%
P わが子は、自分で計画を立てて勉強している	53%
S 目標の時間以上の家庭学習をだいたいしている	67%
P わが子は、家庭学習の目標の時間がほぼ達成できている	44%

＜生徒指導の充実＞

S いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	98%
S 先生方は、意見や思い、悩みを聴いて対応してくれる	93%
S 自分にはよいところがあると思う	72%
P 学校は、いじめや不登校等の問題の解決に向けて積極的に取り組んでいる	83%
P 学校は、「はまなす」等で生徒を理解するように努め、一人一人に応じた指導に心がけている	89%
S きちんとした生活習慣や態度(時間を守る・服装等)に心がけている	91%
S 学校でしっかりとあいさつをしている	93%
P わが子は、家庭であいさつをしている	89%
P 学校は落ち着いた生活や学習に取り組める雰囲気になっている	85%
S ルールを守り、正しいことを進んで行おうとしている	97%
S 先生は、あなたのよいところを認めてくれている	90%
P 学校は、生徒のことについての連絡や相談に適切に応じている	87%
P 学校は、生徒の努力を適切に評価している	90%

＜豊かな心の育成＞

S 人が困っているときは、進んで助けている	94%
S 学校で命の大切さや人権について学ぶ機会がある	95%
P 学校は、道徳の授業を中心に豊かな心や感性を育むよう指導している	90%
S 進んで読書をするようにしている	72%
S 部活動に意欲的に取り組んでいる	92%
P わが子は、部活動に意欲的に取り組んでいる	87%
S 行事や生徒会活動、学級活動に積極的に取り組んでいる	88%
S 学校行くのが楽しい	81%
P わが子は、楽しそうに学校へ通っている	81%
P わが子の学級は雰囲気良く、友達と仲良く活動している	87%
S 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある	88%
S 進路学習を通して、自分の将来や進路について考えるようになった	83%
P 学校は進路に関する指導(進路説明会・職業調べ等)や情報提供を適切に行っている	85%
S 内灘中学校の生徒であることをよかったと思っている	93%
S 将来の夢や目標をもっている	71%
P わが子は、将来の夢や目標をもっている	61%

＜安全指導と健康づくり＞ □

S 学校生活で安全に注意しながら行動することができた	97%
P 学校は、交通安全や不審者対策などに危機意識をもった取組をしている	96%
S 朝食を毎日食べている	96%
P わが子は家庭で毎日朝食を食べている	94%
S 生活習慣(食・睡眠等)に関心を持ち、自分の健康に注意している	91%
P わが子は家庭できちんとした生活習慣が身についている	75%
S 清掃に積極的に取り組んでいる	95%
S 地域や社会をよくするために何かをすべきかを考えることがある	80%
S 人の役に立つ人間になりたいと思う	97%

＜開かれた信頼される学校づくり＞

P 学校は各種便りや学校HP等で、学校や子どもたちの様子を保護者や地域へ分かりやすく伝えている	93%
P 学校から出しているお知らせやたよりに目を通して	89%
P 学校は、電話や訪問等での対応は適切である	94%
S 今住んでいる地域の行事に参加している	58%
P 学校を信頼してわが子を預けている	93%

＜その他＞

S メール・ネットに関する内中ルールを守るように心がけている	90%
P わが子は、メール・ネットに関する内中ルールを守るように心がけている	80%
S テスト前のノーメディアデーを意識して家庭学習に取り組んだ	66%
P わが子は、テスト前のノーメディアデーを意識して取り組んでいた	44%